



## 有限会社村山刺繍店

# 会社の未来を支える 人材を採用



社長の村山昭治さん(左) 後継者の村山裕俊さん(中)  
幹部候補の轟岳史さん(右)

## IT導入や多能工の育成で 多様化する市場の変化に対応

ライフスタイルの変化で市場ニーズが多様化する中、和装業界においても創意工夫の取り組みが求められるようになってきている。村山刺繍店では創業以来、得意とする刺繍技術とこれまで蓄積してきた膨大な図案を組み合わせ、オリジナルの着物を開発するなど、悉皆業以外にも業務のすそ野を広げている。今から3年前には、一人の職人が刺繍や金彩、染色、またIT技術などいくつもの専門スキルを身に着ける多能工育成の取り組みを始めた。分業が当たり前の世界にあって、一人が何役もこなすことで業務の内製化が可能となり、短納期・生産効率向上へと結びつけている。

今、市場には海外製の安価な商品がたくさんあふれているが、「手仕事のほんまものの価値を求めているお客様は多い。私たちにとっては業績を伸ばす大きなチャンスだととらえている」と村山昭治社長(73)。長男で四代目を継ぐ裕俊さん(44)は、独自のネットワークと持ち前の機動力を活かして、商品を直接取り扱ってくれる小売店を回るなど、新規の販路開拓に余念がない。老舗ののれんを受け継ぐ心構えはしっかりとできてきているようだ。

## ミライミーティングで 企業ニーズに応じたマッチング

「忙しく走り回っている息子に代わって、社内の隅々まで目を配って、大勢の職人さんをまとめてくれるプロデューサー役が必要」。村山社長は京都産業21を訪ねて、4代目とともに会社を支えてくれる幹部候補の採用について相談。「後継者マッチング事業」を活用して人材を採用することにした。村山刺繍店で行われた現地で初めての開催となるミライミーティングでは、た



伝統的な商品や技術に触れるミライミーティング

くさんの就職希望者が参加し、時間をかけて会社見学や個人面談などが行われた。

今回、狭き門の中から選ばれたのは業界未経験という轟岳史さん(34)。第一印象は寡黙でおとなしい人だと思ったそうだが、何度か面談を行っているうち、その誠実で真面目な人柄に好印象を抱くようになったという。「どんな表情で私たちの説明を聞いているかとか、応募者一人ひとりの人柄や意欲にじっくり触れることができるのがミライミーティングの魅力」と村山社長は振り返る。

一方の轟さんは、当初は何も分からず、たくさんの人を集めて行われる就職説明会のようなイメージでミライミーティングに参加したというが、「伝統的な着物や染織技術に触れる機会があって、大勢の社員さんと話をする機会にも恵まれ、会社がすごく身近に感じられた。ここで自分の力を試してみたいと思った」と話す。

## 人ひとりを大切に 未来を見据えた人材育成

現在、轟さんは商品の配達や生地のカットなどの仕事を手伝っている。見るもの聞くものすべてが初めての経験ばかりで、裁ちばさみを操る

手つきもおぼつかないが、モノづくりへの関心が高く、裕俊さんの期待も大きい。「一つひとつ確実にスキルを身に付けていってもらえたら」。轟さんの仕事に目を配る裕俊さん。その眼差しはまるで弟を見つめるように温かい。また、轟さんも「この世界は、技術は見て覚えろ、という厳しい徒弟制度が残っていると思っていたが、必要な知識や技術はしっかりと教えてくれる。一日も早く自分ができることを増やしていきたい」と、ひたむきに目の前の仕事に打ち込んでいる。

何年か先、村山刺繍店から新たな魅力を持った和の商品が生み出されるに違いない。きっとそこには、若き後継者と幹部候補の知恵がたくさん詰まっているのだろう。二人を見守る村山社長の瞳には、そんな会社の未来像がしっかりと映っている。



多能工の育成で  
生産効率を向上



### DATA

#### 有限会社村山刺繍店

- 代表 | 村山 昭治
- 住所 | 京都市北区紫野
- 業種 | 着物の刺繍、友禅、金彩、企画デザイン等
- 社員数 | 15名